

# 戸手・親睦GG大会に120人参加

第11回戸手学区親睦グラウンドゴルフ大会(戸手学区まちづくり推進委員会主催)が6月6日、福山市新市町の芦田川河川敷緑地公園で開かれた。小学生からベテランまで過去最多120人が参加。各支部や団体などでチームを編成し、2ラウンド16ホールを戦った。

「戸手学区は福山市内でもグラウンドゴルフが盛んなところ。皆熱心でマナーもいい」と信岡誠大会委員長。同大会は9月に開催される「福山スポーツ祭」の予選会も兼ねており、男女とも個人1～

3位は同大会への出場権が与えられる。個人男子は大庭実さん(33打、ホールインワン4)、女子は山崎恵美子さん(39打)が優勝。大庭さんは「ホールインワン4打は自分でも驚いている。楽しいメンバーと気楽にプレイしたのがよかった」と照れ笑い。山崎さんは「かつては5連覇を達成したことも。後期高齢者の仲間入りを果たし、何年かぶりで優勝できたのでとてもうれしい。運がよかった」とにっこり。結果は以下の通り。

【団体戦】1位:「アニキチーム」(23支部)

瀬尾迪宏・七川裕・石川光男・血海進・藤野枝、打数212)、2位:「28支部」(213点)、3位:「20支部A」(219点)  
 【個人戦】男子優勝:大庭実、同2位:青木昭寿(35、2)、同3位:梶原忠(36、2)、女子優勝:山崎恵美子、同2位:杉原善枝(39、2)、同3位:山崎カネコ(41、1)4位:渡辺英則(37、1)、5位:七川裕(37、1)、6位:瀬尾迪宏(38、1)、7位:宮地章博(38)、8位:後藤頼夫(38、1)、9位:加藤英男(39、1)、10位:阪本竹宏(40、1)



# ソフトボール県大会で接戦続く



第21回広島県小学生総合体育大会(ソフトボールの部)・第23回全日本小学生ソフトボール選手権大会広島予選が6月6・7日、府中市の府中学園グラウンドで開催。県内各地の予選を勝ち抜いてきた16チームによるトーナメント戦が行われた。特に尾長ジュニアソフトボールクラブ対江

波体協若竹会の決勝戦は、左腕の巧者今村真也君(尾長:6年)と速球右腕の笹木秀人君(江波:6年)が息詰まる投手戦を展開。最終7回、江波の清田大佑・山光健君(6年)らが長打を続けたが得点にはならず、逆に尾長は四球などから満塁とし、谷口智慎君(5年)が右翼へ運んでサヨナ

ラヒット、全国大会への切符を手にした。結果は以下の通り。

【準決勝】江波体協若竹会1-0吉島体協少年ソフトボールクラブ  
 尾長ジュニアソフトボールクラブ1-0横尾若虎  
 【決勝】尾長1-0江波



優勝した尾長・大本龍治監督は「苦戦するのはいつものこと。ワンチャンスをものにしてきた。全国大会は6年ぶり4回目です」と語った。試合直後、高畑翔主将(6年)は「こんなこと初めて!」と興奮。「みんながつかんだ勝利。全国大会まで

さらに練習をがんばりたい。「満塁でチャンスだから絶対打ってやる!」と思って打席に立ちました」と笑顔で話す谷口君は、試合後に応援の保護者も一緒になって胸上げされていた。

惜敗した江波・向井一彦監督は「笹木君もよく頑張って投げてくれたので残念。全国大会であれば10年ぶり2回目の出場。西日本大会であれば4回目です。4年前の鹿児島大会では中国地方のチームとして初優勝している。どちらの大会でもベストを尽くします」と話していた。